

令和3年度事業報告書

概要

一昨年の当初に始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、波を伴いながら感染者数が増加しており、第6波が収まる間もなく次の波が始まったようにも見受けられます。この状況は当法人にもショートステイの利用者減となって影響を与えております。短期間であればそれほど問題はないと思われませんが、これほどの長期になると運営面でも経営面でも影響が大きくなりつつあります。

運営的には面会制限を行い、家族はオンライン面会が中心となり、ボランティア等の施設内立ち入りも制限し行事については施設内でできるものに限定してきました。家族に対しては写真を添えて生活の様子を手紙で知らせる、または口頭でお話をするなどできる限りの対応はしてきましたが、にじの郷の魅力である入居者と家族のふれあいの機会が減ってしまったことに満足できない気持ちが家族の中にあることも確かです。

経営的には、ショートステイの利用者数が目標値を下回ったことから大変厳しい決算となりました。新型コロナウイルス感染症対策の支出増に対しては対策補助金など活用できるものはできるだけ活用してきましたが、収入減を補うには至りませんでした。

また、職員の確保はさらに厳しくなっており、ハローワークからの就労希望者は少なく、また求人広告もあまり効果がなく、紹介会社を頼らざるを得ない状況が多くなってきており、その経費がさらに経営に負担をかけています。できれば介助ボランティア制度を取り入れて職員の負担を減らし、少ない職員でもできる体制で充実した介護を目指していきたいところですが、新型コロナウイルス感染症のためにそれもままならない状況が続いています。人材育成についてはオンライン研修を積極的に利活用しており、大幅に受講者が増えました。

その他、事業実績は次のとおりです。

1 評議員会、理事会及び運営推進会議の開催状況

(1) 評議員会

定時評議員会 令和3年6月16日開催、
第2回評議員会 令和4年3月25日開催

(2) 理事会

第1回理事会 令和3年5月28日開催、
第2回理事会 令和3年6月16日開催、
第3回理事会 令和3年11月26日開催、
第4回理事会 令和4年3月16日開催